



20周年記念事業



さいたま市誕生20周年×さいたまスイーツ

市内のスイーツ店に考案してもらいました。新たに市内農産物を取り入れたものや、20周年を記念したデザインのものなど、個性豊かな商品が登場しました。購入いただいた方には20周年記念デザインのマスクケースをプレゼントしました。

協力店舗（50音順）

足立屋、アルピーノ村お菓子やさん工房本店、GAKU BAKERY（ガクペーカリー）、café CERVIN（カフェ・セルヴァン）、コバトンカフェ、清水園ブラスリー・シャトレー、Sweet 大宮コーヒーロースターズ、手作りチーズケーキの店 ダンテ、とうふアイスの店 浦和グリーンワゴン、パレスホテル大宮パレスベーカリー、藤宮製菓 本町店、MY double（マイドゥーブル）、和菓子 秋月



20周年記念クラフトビールが限定販売

「さいたま市誕生20周年記念ビール」が特別醸造・限定販売されました。包括連携協定企業である武蔵野銀行が見沼田んぼで栽培している小麦を、市内初のクラフトビール事業者である株式会社氷川ブリュワリーが市内産ホップと掛け合わせました。



懐かしい〇〇年前のさいたまを振り返るコラムをSNSなどで配信

さいたま市の歴史を月ごとに振り返るコラムを市報さいたまやホームページ、SNSなどで展開しました。また、大宮タカシマヤや埼玉りそな銀行の一部店舗で写真展を開催しました。



市役所正面玄関前の郵便ポストがヌウのラッピングポストに

市役所正面玄関前の郵便ポストがヌウの姿に大変身。包括連携協定企業である日本郵便と連携し、ポストをラッピングしました。



お披露目式には、市PRキャラクター「つなが竜ヌウ」と日本郵便のキャラクター「ぼすくま」も駆けつけました。



学生たちのさいたま市PR大作戦

本市と包括連携協定を結ぶ目白大学のメディア学部の学生との協働で市のPR動画を制作し、市の魅力をPR。制作の様子を市テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」で放送しました。



さいたまの魅力「自然と都市」編



さいたまの魅力「伝統文化（盆栽）」編



みんなのさいたまキャンペーン

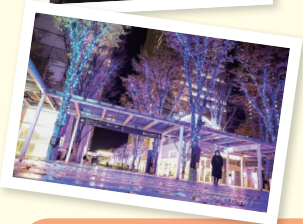
20年間の思い出や市内のお気に入りの場所・風景など、皆さんの写真やエピソードを募集しました。ここではその一部をご紹介します。



私は2001年の4月生まれです。今年成人を迎えました。生まれたときはまだ大宮市でしたが、さいたま市は私にとってホームタウンであり、共に歩んできたかけがえない同級生です。成人おめでとう、さいたま市！これからもよろしくね。（北区在住「むささび」さん）



さいたま市にはおよそ12年前の2009年に転居して来ましたが、人口130万人都市に発展するとは予想外でした。またJリーグのチームが2つもあり、ワールドカップや五輪の会場まで揃っている都市は日本広しといえど、このさいたま市くらいではないでしょうか？現在はコロナ禍で非常に厳しい状況ですが、この危機を乗り越えて更なる発展を期待したいものです。（見沼区在住「クリタケ」さん）



さいたま市に引っ越してきて驚いたのは、図書館の充実ぶり！1人30冊まで借りられる図書館はあまりなく、せいぜい10冊程度。浦和の中央図書館や、大宮図書館がお気に入りで、本に向かい合い自分を見つめ直す、またとない機会になっています。（浦和区在住「まっくん」さん）



人形で溢れる岩槻区に住んでいます。小学校の高学年の頃に木目込み人形をつくったことが今でも思い出に残っており、家で大切に保管をしています。そんな人形の街岩槻をこれからもたくさんの人に知ってもらいたいなって思うようになり、気づいたら学校の先生になっていました。さいたま市をこれからも愛し続けたいと思います。（岩槻区在住「えびまっきー」さん）

Topic

オンラインで実施したイベント

【市誕生20周年記念フェア】

予定していたまるまるひがしにほん（東日本連携センター）では開催せず、内容を変更し、一部コンテンツをホームページ上で公開しました。

【市制施行20周年記念WEB式典】

新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、WEB形式で開催しました。



詳細情報をチェック！
20周年記念事業の詳細は市ホームページで



集まった写真を使用した記念フレーム切手も販売されました。